

テーマ：観光（実践校）

釧路管内 標茶町立標茶小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・郷土への一層の愛着や誇り、地域の一員としての社会参画意識を育むために、外部講師の協力を得て釧路湿原の魅力を感じ取る学習活動や、自ら課題を追究し、学んだ地域のすばらしさを表現する学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

釧路湿原についてウェビングマップを作成し、釧路湿原と標茶町との関わりについて学習した後、実際に釧路湿原を散策しました。外部講師と連携を図り、児童の興味・関心につながるようガイドしていただき、「釧路湿原の魅力を探し、発表ボードにまとめて伝えよう」という課題を設定しました。



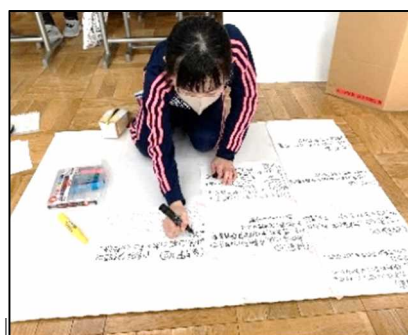
【外部講師からの説明】

(2) 情報の収集

課題の解決に向けて、書籍やインターネットを活用して調べたり、釧路湿原を再現する実験を行ったりしました。実験等から課題を明確にして、2回目の釧路湿原の散策や資料等により情報を収集しました。

(3) 整理・分析

収集した情報をデジタルホワイトボードに蓄積し、釧路湿原が魅力的な理由を動物や植物、湿原の成り立ち等から整理・分析・考察しました。



【発表ボード作成の様子】

(4) まとめ・表現

整理した情報や考察した釧路湿原の魅力を発表ボードにまとめ、外部講師や友だちに発表するとともに、「標茶町開発センター」「釧路市こども遊学館」等、近隣の公共施設に展示し、釧路湿原の魅力を広く発信しました。

②児童の感想等

- ・釧路湿原の生き物や植物など、その魅力について、たくさんを知ることができました。
- ・発表ボードを様々な場所に展示し、多くの人に釧路湿原の魅力をたくさんの人に伝えたいです。

■取組の成果（○）と課題（●）

- アンケートで「北海道や自分たちの住んでいる地域は好き」と回答した児童の割合が、80%から91%に増加するなど、住んでいる地域や釧路湿原についての愛着や誇りを深めることができました。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当初予定していた校外学習などの実施時期を変更したことから、次年度は不測の事態を想定した指導計画や活動内容を検討する必要があります。